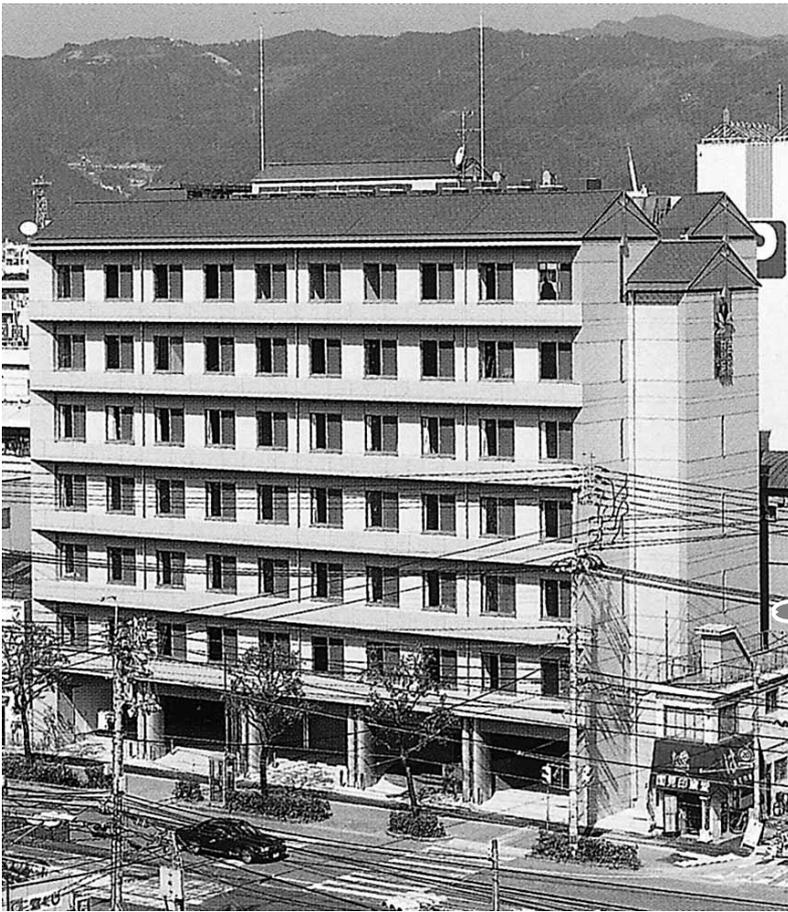




ぽっかぽか

函南病院新豊部



開院 45 周年

函南病院45周年を迎えて

特定医療法人函南病院院長

久直史



直撃をうけた地方の医療

21世紀に入って医療に大きな変革が来ると言われましたが、もう10年が過ぎてしまいました。しかし、この10年は医療費抑制という大きな力で医療が圧迫

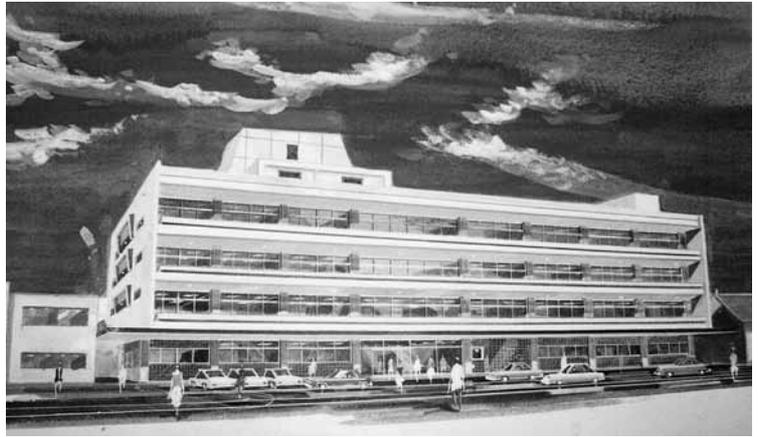
をされた期間でもありました。その結果、医療崩壊と呼ばれる状況があらこちらで起きるようになり、ここにきてやっとこのままではいけないという声上がるようになりました。制度が変わるとき混乱はある意味では覚悟すべきことかもしれませんが、急に起こってしまった医師不足、看護師不足はやはり制度の導入の仕方に問題があったと考えられます。今、そのひずみは地方を直撃しています。今になって医学部定員の増員や地元枠といった対策が講じられています。が、そ

■病院理念

1. 私たちは地域にとってよりよい医療・介護を目指し努力を続けます。
2. 患者様に信頼される技術と暖かいホスピタリティを提供できることが私たちの目標です。
3. 私たちは医療人として楽しく働ける職場作りを目指します。

■病院基本方針

1. 我々は病气 (Common Disease) を安全・快適に治療することを目標としています。
2. 我々は当院の専門分野での高い医療レベルを維持することに努めます。
3. 我々は地域の他の医療機関・施設との連携を大切にします。
4. 我々は個人の尊厳を重んじ、人生の終末期に対して入院および在宅医療・介護を通じて取り組みます。



開院当時のスケッチ画

在宅医療への取り組み

一方で、超高齢化社会は着実に現実となっており、現在100万人余の年間死亡者数はピークの2037年前後には170万人を超えるまでに増加することになります。現在、療養病床の削減策が進行中ですから、増加する高齢者を病院で受け入れることはできません。その先に来る少子化による人口減少を考えてみても、これらのキーワードは「在宅」ということになります。この4月から「在宅療養支援診療所」の要件が変わり当院も「在宅療養支援病院」として在宅診療を行うことが可能になりました。これまでも終末期の患者様を含めて在宅医療に取り組んできましたが、今後は訪

問看護ステーション、居宅介護支援事業所と協力しながら一層在宅医療に力を入れてゆきたいと考えています。



地域と共に生きる医療を目指して

現在の医療の大きな流れは、医療の集約化、拠点化です。悪性腫瘍についてもこうした流れに進んで行こうとしています。当院は開院以来消化器疾患を中心とした悪性腫瘍の診断、治療に取り組んできました。拠点化の中にあっても、当院は地域に根ざした病院として、内科、外科、放射線科

等の協力体制の下に今後これまでの実績を生かしてこの分野の診療を進めるとともに、ちょうど10年前に開設した緩和ケア病棟に在宅医療も含めた形で「診断から看取りまで」を切れ目なく行える施設として悪性腫瘍への取り組みを広げてゆこうと考えています。もちろん、病気は「がん」だけではありませんから、地域の一般病院としての機能もレベルアップを図ってゆく所存です。

今年医療法人久会開設45周年でもあります。職員全員で目標に向かって努力を続ける覚悟ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



問看護ステーション、居宅介護支援事業所と協力しながら一層在宅医療に力を入れてゆきたいと考えています。

今年医療法人久会開設45周年でもあります。職員全員で目標に向かって努力を続ける覚悟ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。





クリスマス会

ぽっかぽか あい 広場

去る12月に緩和ケアのラウンジでクリスマス会を催しました。

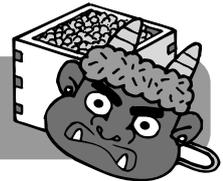
患者様やそのご家族、ご遺族、ボランティアの方々が出席してくださいました。

病棟看護師のハンドベルの演奏に始まり、市川先生のピアノに合わせて皆さんで合唱しました。合唱の中、久先生扮するサンタクロースと少し太めのトナカイが乱入。患者様一人一人にプレゼントを渡しながら「ハイ・パチリ」患者さまの少し驚いた様な笑顔やキョトンとされた様な笑顔が印象的な太目のトナカイでした。

半田 小百合



節分



2月3日、緩和病棟では久明史Drと久晃生Dr扮する赤鬼、青鬼が、入口に柵と鯛を飾った各病室をまわり、節分行事の豆まきを行いました。昼過ぎから豆まきを始める予定で、患者様はまだかま

だか、と心待ちにし、中にはしびれを切らして「鬼はいつ来るが?」という患者様も。

少し予定が遅れての始まりでしたが、鬼が入ってくると「鬼は一外! 福は一内!」と願いをこめて一生懸命ベッドから豆まきをする患者様とご家族。

「もっとがいにあげてかまんで!」「もう一回、もう一回!」とはやしたてられ、笑いながら何度も鬼医者(?)に向かって豆を投げつけていました。

いいこといっぱいありますように!

岩村 さえ子



お花見会

4月3日に緩和ケア病棟で、丸池公園にお花見に行ってきました。今年は、開花宣言が早く花が残っているか心配していましたが、先端にはまだ蕾があり私たちの訪れを待っていてくれました。

患者様やその御家族、ボランティア、スタッフ総勢40名の参加があり、例年になく賑わいでした。車椅子やストレッチャーで参加して下さった患者様も散歩したり、桜を眺めて思い思いの時間を過ごされていました。



お花見というと緩和ケア病棟では、バーベキューと豚汁です。患者様達が到着する1時間程前から、システム部の松下主任らと準備をし、ちょっと味見もして患者様達を待ちます。

屋外のイベントでは、日ごろ食の細かい患者様も食がすすみ、「美味しいね」という声が聞かれ、嬉しくなってしまう。

この日は、本当にお天気が良く、青い空に桜の花びらが映えてました。

2時間ほど桜を楽しみ、帰院しました。その数時間後、私の手首に真っ赤なアザが…、かぶれかなと思うと日焼け

けでした。患者様も日焼けをしてクーリングするなど難儀していました。

大切な顔は厚塗りしたのに手と首のケアを忘れていました。この日焼けも例年に無い事でした。春の紫外線をなめてはいけません。次のイベントは秋の紅葉狩り…、秋なら…いえいえ紫外線をなめてはいけません。患者様としっかり日焼け対策をして参加します。

いろいろハプニングもありますが、これからも患者様方と楽しい時間を過ごしていきたいと思えます。

半田 小百合



花祭り

4月8日は、お釈迦様の誕生日です。緩和ケア病棟でもこの日を患者様やその御家族らとお祝いします。お琴の演奏が病棟に響く中、その音色に合わせて合唱しました。

次の屋内イベントは、七夕会です。今年も天の川が見える事を願います。

半田 小百合



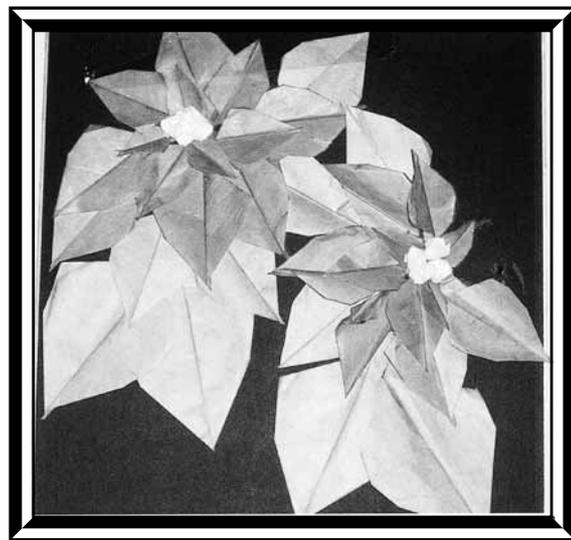
◆西2階 壁飾りシリーズ◆



西2階では、季節に応じた壁飾りを貼っています。

患者様の誕生日の日には、誕生日カードを渡しています。手作りで、かわいらしいカードです。

西2階に見に来て下さい。



はんださんちの猫又 ニャンコ



私がこの家に来て、もう22年か23年になる。
もう歯が無い。さっきご飯を食べたのにまた食べる。
トイレもさっき行ってきたのにまた行く。
そう私は猫又らしい。
猫又になると、歩くとフラックから走る。
不思議と速い。
猫又になるとオスもメスも関係ないらしい。
さて、どちらだったか…。
見回りは、若猫にまかせ、ブラブラする。
もう縄張り争いの相手にはならないが、
猫生(じんせい)の手本にはなるだろう。

Uchinoko Jiman

うちのまん
子まん



小島さんちのレオくん 3歳半...

Uchinoko Jiman

うちの子まん。



3

似合う?

オシャレしたり



4

ドライブへ



5

おいしそうなの
ダロン〜

食べたり
しないよ!

お仕事見学中



異常なし!

2 お家の見回り



6 お昼寝タイム



おはよう
ございます!

1 起床



今日も良い
一日でした

8 就寝



7 体を温かくして

特技

- 🐾 ウンチをしたらオムツシートで隠す
- 🐾 お腹が空くと自分のお茶碗を持ってくる

ハプニング

- 脱走した時、
- インスタントラーメン 3個
- お饅頭 10個
- 犬のサプリメント 30錠
- 食べてお腹がパンパンになって自力で直したそうですよ

もうしません...



骨盤低筋体操

～リハビリテーション部～

骨盤低筋とは？

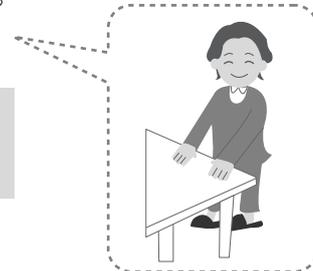
骨盤低筋とは、骨盤の内部で膀胱、尿道、子宮、直腸などお腹の臓器を下からハンモック状に支えている部分です。出産、肥満、加齢などで、この筋肉がゆるむと重力の関係で膀胱が下がってしまい、腹圧がかかった時の尿もれが起こりやすくなります。

尿もれのタイプ

- (1) **腹圧性尿失禁** 女性がほとんど
せき、くしゃみ、階段をかけおりた時など、お腹に力を入れた時におこる尿もれ
- (2) **切迫性尿失禁** 男女ほぼ同数
尿意を感じて、急いでトイレに行っても間に合わずにおこる尿もれ

腹圧性尿失禁に有効で、尿もれの予防、改善に、骨盤低筋を収縮させる体操。骨盤低筋は年齢に関係なく鍛える事が可能で、骨盤低筋以外の筋肉に力が入ると効果が下がるので、お腹、お尻、太ももの筋肉に力が入っていないことを確認しながら行いましょう。

- (1) 寝た姿勢で膣と肛門の周りの筋肉を締め、お腹の中に引っ張り上げるように行います。膝を立てて行うと効果的です。
- (2) 椅子に座って基本的には寝た姿勢と同じで、膣と肛門の周りの筋肉を締め、お腹の中へ引っ張り上げるように行います。膣と肛門が椅子から浮くように実感できるとよいです。
- (3) 立った姿勢で基本的には椅子に座った姿勢と同じです。机やテーブルなどを支えにすると、効果的です。



- 1、速い動き (2秒締めて、4秒休める) を5回繰り返す。
- 2、遅い動き (5秒締めて、10秒休める) を5回繰り返す。

以上が1セットです。足は肩幅に開いて行いましょう。いろんな、姿勢を組み合わせながら、1日10セット、効果が出はじめるまでに、2～3か月はかかるので、途中で諦めずに続けましょう。

